

令和4年度5年生  
昨年度の授業改善プランについて

**国語**⇒伝えたいことを明確にして話し、聞くときには目的にそってメモをとりながら聞くように指導することで、発表場面では成果が見られた。相手の意見の共通点に着目して、自分の考えをまとめることに課題が残った。字を雑に書いたり、既習した漢字を使わないで作文を書いたりする児童が多い。

**社会**⇒学習のまとめなどで自分の考えを表現する機会を設けることで、発信する力が付いた。グラフや地図などの資料の読み取りには課題が残った。

**算数**⇒操作活動を取り入れた授業を行った結果、自分の考えを友達に説明することができるようになった。掛け算、割り算の筆算などの基礎的な内容に課題のある児童がいる。基礎基本の学習の繰り返し学習が必要である。

**理科**⇒実験や観察を生かし、主体的に学習に取り組むことができたが、知識の定着や結果から考察を導くことには、課題が残った。

I 大田区学習効果測定の結果と概要

△：正答率の平均が目標値を上回った教科・観点

≒：正答率の平均が目標値と同程度の教科・観点

▼：正答率の平均が目標値を下回った教科・観点

教科	国語			社会			算数			理科		
全体	≒			≒			≒			▼		
観点別	≒	≒	▼	≒	≒	≒	≒	≒	≒	▼	≒	≒
	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

1 教科全体

国語と算数と社会は、目標値と同程度となっている。理科については、ついでには、目標値を下回る結果だった。基礎的な内容と活用力ともに目標値を下回っている。

2 観点別

国語は自分の考えを文章でまとめることや正しく漢字を書くこと、社会は資料の読み取りから課題に対し判断すること、理科は自然体験や観察を基に自然事象の理解をすることが目標値を下回った。算数は、図形に関する項目が目標値を上回った。

II 教科ごとの授業改善プラン

1 国語・社会・算数・理科

**【国語】** 文章や話し合いの内容について、共通点や着目点が明確につかめるように視覚的に示す。また、視覚化したことを活用して記述したことを読み直す活動を取り入れる。そして、国語に限らず、各教科にわたり自分の意見や考えを記録する機会を設けて、主体的に取り組む態度を高めていく。

**【社会】** 課題解決のための「めあて」にそって、資料から読み取った内容から情報を整理する活動を繰り返し取り組ませる。「学習のまとめ」にむけて、必要な情報を判断する力を高めていく。

**【算数】** 基礎力の定着を活かして、数の拡張に伴う処理やしくみの理解の徹底を図る。繰り返しの計算や百ます計算などの反復練習を取り入れる。また、活用する力の定着を図るため問題場面の関係を図や表で捉える活動を取り入れていく。

**【理科】** 新しい単元の導入の際に、既習事項をしっかりと捉えさせる。実験を積極的に取り入れ、知識の定着を図っていく。

2 音楽・図工・家庭科・体育

	児童の実態		授業改善プラン
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発声を意識して歌ったり、器楽を演奏したりすることができる児童が多い。</li> <li>・一方で演奏はできるが音楽記号や楽譜が読めない児童も多い。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の演奏のよさに気付ける児童が多い。</li> <li>・気付いたよさを自分の演奏に活かそうとする態度が随所に見られる。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽合奏への関心は高く、継続して練習に取り組める児童が多い一方で、歌唱への意欲は差が大きい。歌唱への苦手意識のある児童にとっては、器楽よりもハードルが高いようである。</li> </ul> </li> </ul>	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識を活かすことで技能をのばしていけるよう、練習方法を提示する。</li> <li>・今後も、発表の場を設定し協同的に学ぶ機会をもたせる。</li> <li>・全体としての完成度を上げると共に児童一人ひとりが目標もちそれを達成できるよう学習計画を立てる。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の正しい扱い方を身に付けようとしていたり、新しい技法を知り、すすんで取り入れようとしていたりする。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のアイデアをもち、作品作りに取り組むことが苦手な児童が少なからずいる。</li> <li>・友人の作品のよさを見付けられる児童は多いが、それを言葉で表現することは難しい。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形に関心をもち、進んで取り組む児童が多い。</li> </ul> </li> </ul>	<p>○</p> <p>△</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩なアイデアが生まれるように、授業の導入を工夫する。</li> <li>・作品の鑑賞については、鑑賞の観点を明確にしたり、使う語彙について指導したりして、実施する。</li> <li>・制作が困難な児童には、個別にフォローする。</li> </ul>
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手順よく実習できた児童が多かったが、技術の向上のために習熟するための練習がさらに必要である。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の生活において、学習したことを活かした生活の工夫等の発展的活動までできている児童が多い。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫（手縫い）や調理に対する関心が高く、興味をもって実習できた児童が多い。</li> </ul> </li> </ul>	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の向上については、家庭と連携を取りつつ、授業を通して習熟させていく。</li> <li>・学習したことを実際の生活に活かせるような学習計画を立てる。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な語彙や表現を理解し、聞いたり話したりすることができる。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の場面で自分の気持ちなどを伝える際に、学習した語彙や表現を活用することが難しい児童が多い。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に外国語を用いようとする児童も多いが、一方で、恥ずかしがってしまう児童もいる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>○</p> <p>△</p> <p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT とコミュニケーションをとる機会を増やし、英語に多く触れることができるようにする。</li> <li>・友達とのペア学習やグループ学習を取り入れるなど、学習形態を工夫する。</li> </ul>

<p style="text-align: center;">体 育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動能力に差がある。ボール運動については、ルールを理解していくことでできるようになったり、友達と教え合う中で技能が身に付いたりすることがあった。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手本動画と自分の動きを比較し、課題を見付けることができた。そこからどのように解決するかを考えることが難しい児童もいた。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの単元も意欲的に取り組んでいた。一方で、勝敗にこだわりすぎて、気持ちよくゲームに取り組めないことがあった。</li> </ul> </li> </ul>	<p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もがもっている力で楽しめる教材から学習をスタートできるように計画する。</li> <li>・課題解決のための引き出しを増やせるよう、練習方法などを提示する。</li> </ul>
--	---	--	--